

令和 6 年度板橋区総合教育会議

日時 令和 6 年 7 月 1 1 日（木）
午前 1 0 時 3 0 分～正午
場所 教育支援センター

次 第

1 開 会

2 区長挨拶

3 令和 5 年度板橋区総合教育会議の報告 (資料 1)

4 議 題

板橋区教育大綱の改定等に関する協議

(1) プレゼンテーション

「板橋区教育大綱の成果」 (資料 2)

(2) 意見交換

5 閉 会

令和5年度板橋区総合教育会議 協議事項の進捗状況について

1 協議事項

「スポーツや文化芸術など生涯学習社会を目指した部活動の地域移行」

2 協議のまとめ

区立中学校の部活動が果たす大切な役割や意義を継承しつつ発展させながら、生徒の活動機会の持続可能性を維持するためには、地域における生涯スポーツ社会・生涯学習社会につながる、新しい価値を生み出していくことが重要である。

そのため、引き続き、生徒にスポーツ、文化芸術活動を通じた成長機会が提供できるよう、保護者や地域の理解を得ながら、教育委員会と区長部局がより緊密に連携・協働し、部活動の地域移行に向けた取組への検討を深めていく。

3 「部活動の地域移行」に係る取組

令和5年度

(1)「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン 2030」「同実施計画 2025」の策定

中学生の持続可能な新たな活動の場をめざして、めざす将来像を設定するビジョン及び国の改革推進期間である令和7年度(2025年度)までの2年間に実施する取組を掲載した実施計画を策定した。

- ① 板橋区立中学校部活動地域移行検討会議の開催(全4回)
- ② 板橋区立中学校部活動アンケート調査の実施(対象:教員、生徒、保護者)

(2)実践研究モデル事業「いたばし地域クラブ」を実施

運営団体:板橋区教育委員会

クラブ	会員数・活動回数	活動状況等
女子サッカー	13 人 ・ 44 回	・「WEリーグカップ」の観戦 (8/27) ・「中学校女子サッカーフェスティバル」に参加し、対外試合を実施 (10/21) ・「スマイルプロジェクト 2023」に参加し、対外試合を実施 (3/9)
e スポーツ	25 人 ・ 43 回	・クラブ内で大会を実施 (8/23、1/21) ・クラーク国際記念高校で高校生とともに活動
ロボット数学 (旧:科学技術)	16 人 ・ 121 回	・タニタと凸版印刷の企業見学を実施(8/8、8/10)

(会員数は令和6年3月末時点)

- ① 「いたばし地域クラブ体験会(小学6年生対象)」の実施 (2月)
- ② 「魅力発信!いたばしナビ」での周知 (3月)

(3)「板橋区立中学校部活動地域移行協議会」の開催

スポーツ、文化芸術関係者、青少年健全育成関係者、保護者等との意見交換を実施

	開催日	延べ参加人数
第1回	7月27日、28日 8月 1日	47 名 (オンライン参加 18 名含む)
第2回	12月15日、19日	28 名 (オンライン参加 12 名含む)

(4)「区立中学校部活動地域移行に関する保護者説明会(小学生の保護者対象)」の開催

開催日 1月19日 (オンライン開催)

参加者 約 90 名

令和 6 年度

(1)いたばし地域クラブに「サイエンスクラブ」の活動を開始(4クラブ目)

志村第四中学校 (5/22) 教育科学館 (5/24)

(2)部活動地域移行シンポジウム(8月下旬開催予定)

(3)部活動指導員の増員(44 人配置予定)

(4)総合型地域スポーツクラブ「プリムラ」と地域クラブ活動に関する連携を開始

※スポーツ振興課と連携事業

(5)広報いたばし特集号「いたばし地域クラブ本格始動」発行 (6/8)

板橋区教育大綱の成果

令和6年度総合教育会議

令和6年7月11日

板橋区教育大綱

大綱策定にあたって

板橋区教育大綱は、板橋区基本構想における将来像の「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」を実現するため、学校教育、生涯学習、文化、スポーツ施策における方向性を示すものです。

教育分野における概ね 10 年後のあるべき姿は、魅力ある学校づくりが進み、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちのたくましく生きる力が育まれ、生涯を通じて学び、教えあう環境が整い、「ひと」と「ひと」、「ひと」と「まち」をつなぐコミュニティが形成されていることと考えています。

私は、「板橋で学び地域を愛し、ふるさと板橋を大切に作る子どもになってほしい。たとえ、大人になり、ふるさとから離れても板橋を想い続ける人になってほしい。」と強く願っており、郷土愛を育む施策が重要であると考えています。この「大綱」に沿って教育委員会と密接な連携のもと、子どもたちがいきいきと学び、区民があたたかい気持ちで支えあう元気なまちづくりに取り組んでまいります。

“学びのまち”「教育の板橋」の実現に向けて

【これからの社会を生き抜く力の育成】

- 多様で変化の激しい社会では、基礎学力とともに、自ら考え、主体的・能動的に行動する力や協働して課題に取り組み、粘り強く解決に導く能力が必要です。また、規範意識、社会性、支え合い、思いやり、もてなし等の豊かな心を育み、体力向上や心と体の健康づくりに取り組むことも重要です。そのために、子どもたちの「知」「徳」「体」の調和のとれた「生きる力」を学校・家庭・地域が連携して、地域社会をあげて育みます。
- 子どもたち一人ひとりの個性を認め合い、自己肯定感を高め、長所を伸ばして自信につなげます。これまでの「教える」から「支える」に軸足を移して、子どもたちの自立を促すとともに、キャリア教育等を通じて社会で必要となる能力や意欲を育み、失敗しても再チャレンジする人づくりを進めます。

【子どもの学びを保障する教育環境の確保】

- すべての子どもたちへの学びの機会を確保するとともに、家庭の経済状態や障がいの有無等によらない、質の高い教育を受けられる環境の整備を進めます

- 小中一貫教育の推進などにより、学校不適應の問題についても改善を図ります。また、いじめの早期発見、早期解決に努め、関係機関と連携し、いじめ問題に取り組みます。
- 教育支援センターを活用し、教職員の資質と指導力を向上させ、「学ぶのが楽しい」「よく分かる」授業への改善を推進します。
- 安心・安全で魅力ある学校施設の整備を計画的に行います。

【幼児教育の推進】

- 未来を担う子どもたちの感性や協調性、粘り強さなどの能力を育むため、幼児期から文化・スポーツに取り組む教育を推進します。
- 就学前の子どもたちを滑らかに小学校へつなげることが重要です。家庭における生活習慣をしっかり身につけ、遊びを通しての子どもの育ちや学びの連続性を踏まえて、保育園や幼稚園での教育の充実を図っていきます。

【地域と共に学び合う教育の推進】

- 区民の学び続けたいという願いに応えるために、生涯学習社会へ向けた支援を充実させ、地域と家庭の教育力の向上をめざします。
- 板橋区には、各地域に子どもたちが必要とする多様な資質・能力をもった方々がいます。そうした方々に参画していただけるしくみをつくり、地域の教育力向上に努め、「地域が支える教育の板橋」を実践します。
- 地域の人々が、結びつきを強め、地域の課題に積極的に取り組むことにより、コミュニティの活性化が図られるよう、施設整備を含めた生涯学習環境を計画的に整備していきます。

【文化・スポーツの推進】

- 文化財や伝統芸能を保存・継承し、広く区民に伝え、郷土板橋への愛着と誇りを深めます。
- 生涯にわたっての健康で豊かな心を育むため、体験活動や文化・スポーツに触れ合う機会を大切にします。
- 板橋区スポーツ推進ビジョン 2025 や板橋区文化芸術振興基本計画 2020 と緊密な連携をとって教育の施策に取り組みます。とくに、文化・スポーツ、体験的学びを通じて、青少年の健全育成を図ります。

平成 28 年 1 月 8 日

板橋区長

坂本 健

【これからの社会を生き抜く力の育成】

- 多様で変化の激しい社会では、基礎学力とともに、自ら考え、主体的・能動的に行動する力や協働して課題に取り組み、粘り強く解決に導く能力が必要です。また、規範意識、社会性、支え合い、思いやり、もてなし等の豊かな心を育み、体力向上や心と体の健康づくりに取り組むことも重要です。そのために、子どもたちの「知」「徳」「体」の調和のとれた「生きる力」を学校・家庭・地域が連携して、地域社会をあげて育みます。
- 子どもたち一人ひとりの個性を認め合い、自己肯定感を高め、長所を伸ばして自信につなげます。これまでの「教える」から「支える」に軸足を移して、子どもたちの自立を促すとともに、キャリア教育等を通じて社会で必要となる能力や意欲を育み、失敗しても再チャレンジする人づくりを進めます。

主な成果

- 子ども動物園リニューアルオープン（キッズデザイン賞受賞）
- 「板橋区授業スタンダード」「読み解く力の育成」を柱に授業革新に取り組み学力学習状況調査結果が向上
- GIGAスクール構想に基づき、一人一台端末、高速大容量通信ネットワーク等を整備
- 4歳から9年生までの11年間を通じた環境教育に取り組み、ユネスコスクールに7校が加盟
- 12年間（小・中・高段階）を見通したキャリア形成を推進

【子どもの学びを保障する教育環境の確保】

主な成果

- すべての子どもたちへの学びの機会を確保するとともに、家庭の経済状態や障がいの有無等によらない、質の高い教育を受けられる環境の整備を進めます。
- 小中一貫教育の推進などにより、学校不適応の問題についても改善を図ります。また、いじめの早期発見、早期解決に努め、関係機関と連携し、いじめ問題に取り組みます。
- 教育支援センターを活用し、教職員の資質と指導力を向上させ、「学ぶのが楽しい」「よく分かる」授業への改善を推進します。
- 安心・安全で魅力ある学校施設の整備を計画的に行います。

- ・ 子ども家庭総合支援センター開設
- ・ 「STEP UP教室（特別支援室）」を全区立小中学校に設置
- ・ 全区立小中学校に教室以外の居場所を設置。
- ・ 中高生・若者の活動や学習支援の場、居場所「i-youth」を運営
- ・ 近隣の小中学校で学びのエリアを設定し、9年間を見通した取組を推進
- ・ 放課後の居場所「あいキッズ」を運営
- ・ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門職を配置し相談・支援体制を整備

【幼児教育の推進】

- 未来を担う子どもたちの感性や協調性、粘り強さなどの能力を育むため、幼児期から文化・スポーツに取り組む教育を推進します。
- 就学前の子どもたちを滑らかに 小学校 へつなげることが重要です。家庭における生活習慣をしっかり身につけ、遊びを通しての 子どもの育ちや学びの連続性を踏まえて、保育園や幼稚園での教育の充実を図っていきます。

主な成果

- 区立高島幼稚園で3歳児保育・預かり保育・弁当給食などを開始
- ボローニャ絵本館をはじめ、各地域図書館で絵本の読み聞かせを行い、子どもが本を好きになる契機を作出
- 保幼小中一貫環境教育を推進
- 「子育て応援児童館CAP'S」として、年齢別プログラムや各種子育て相談事業を実施し、乳幼児親子の居場所機能や相談機能を充実

【地域と共に学び合う教育の推進】

主な成果

- 区民の 学び続けたいという願いに応えるために、生涯学習社会へ向けた支援を充実させ、地域と家庭の教育力の向上をめざします。
 - 板橋区には、各地域に子どもたちが必要とする多様な資質・能力をもった方々がいます。そうした方々に参画していただけるしくみをつくり、地域の教育力向上に努め、「地域が支える教育の板橋」を実践します。
 - 地域の人々が、結びつきを 強め、地域の課題に積極的に取り組むことにより、コミュニティの活性化が図られるよう、施設整備を含めた生涯学習環境を計画的に整備していきます。
- 区民の多様な学習意欲に応えることを目的に「板橋グリーンカレッジ」を開校
 - 「板橋区コミュニティ・スクール（iCS）を区内全小中学校で実施
 - 中央図書館が「絵本のまち板橋」の発信拠点として取組を推進

【文化・スポーツの推進】

- ❑ 文化財や伝統芸能を保存・継承し、広く区民に伝え、郷土板橋への愛着と誇りを深めます。
- ❑ 生涯にわたっての健康で豊かな心を育むため、体験活動や文化・スポーツに触れ合う機会を大切にします。
- ❑ 板橋区スポーツ推進ビジョン2025や板橋区文化芸術振興基本計画2020と緊密な連携をとって教育の施策に取り組めます。とくに、文化・スポーツ、体験的学びを通じて、青少年の健全育成を図ります。

主な成果

- ・区立美術館をリニューアル（第30回BELCA賞受賞）
- ・中央図書館・ボローニャ絵本館オープン（グッドデザイン賞受賞）（図書館協会建築賞受賞）
- ・「陸軍板橋火薬製造所跡」が国の史跡に認定、旧粕谷家住宅が都の有形文化財に指定
- ・区立美術館のイタリア・ボローニャ国際絵本原画展をはじめとする絵本のまち事業を実施
- ・アーティストバンクいたばしを新設
- ・あずさわスポーツフィールドオープン
- ・植村記念加賀スポーツセンタリニューアルオープン（植村冒険館併設）
- ・オリンピックによるオリンピック教室を開催
- ・スポーツマッチングテストを開催